

サントリーホール

キューピ・スペシャル

# ニューイヤー・コンサート2017

## Suntory Hall New Year Concert 2017



# ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団

## Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

Siphiwe McKenzie, soprano



Miroslav Dvorský, tenor



Ola Rudner, conductor & violin



## 美しく青きドナウ

初演から愛されて150周年(1867-2017)

*"An der schönen blauen Donau"*

《出演》

オーラ・ルードナー [指揮&ヴァイオリン]

Ola Rudner, conductor & violin

シビーウェ・マッケンジー [ソプラノ]

Siphiwe McKenzie, soprano

ミロスラフ・ドヴォルスキー [テノール]

Miroslav Dvorský, tenor

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 [管弦楽]

Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

バレエ・アンサンブルSVOウィーン [舞踏]

Ballett Ensemble SVO Wien

### 《プログラム(抜粋)》

スッペ: オペレッタ「詩人と農夫」序曲 Franz von Suppé: Dichter und Bauer, Ouvertüre

オフエンバック: オペレッタ「天国と地獄」序曲 Jacques Offenbach: Ouvertüre „Orphrus in der Unterwelt

ドリープ: バレエ音楽「コッペリア」から「プレリュードとワルツ」 Léo Delibes: Prelude & Valse, Coppélia

クライスラー: ウィーン奇想曲 Fritz Kreisler: Caprice viennoise

ヨハネス・ホリク: 1月1日〜ヨハン・シュトラウス風 (サントリーホール25周年記念ワルツ)

Johannes Holik: Toshi no Hajime à la Johann Strauss - Suntory Hall 25 Jahr Jubiläums - Walzer 他

2017. 1.1 [日・祝] 14:00開演 (13:00開場), 2 [月] 14:00開演 (13:00開場), 3 [火] 13:00開演 (12:00開場) & 17:30開演 (16:30開場)

料金: 各日とも

S=11,000円/A=9,000円/B=7,000円/C=5,000円

※開場・休憩中、ブルーローズ(小ホール)はドリンクコーナーとしてお寛ぎいただけます。

主催: サントリーホール 協賛: キューピー株式会社 後援: オーストリア大使館、ウィーン在日代表部、ウィーン市観光局

★サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行受付 2016年9月11日[日]10時~23日[金] ★一般発売 2016年9月24日[土]10時~

※先行2日目の9月12日[月]は休館日です。 ※先行期間中は窓口での販売はございません。

サントリーホールチケットセンター

0570-55-0017 (10:00~18:00、休館日を除く)

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB <http://suntoryhall.pia.jp/>

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 304-763] / ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード: 32468]

イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp)

※出演者・曲目に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。 ※就学前のお子様同伴・入場はご遠慮ください。



SUNTORY HALL



# Suntory Hall New Year Concert 2017

## Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

### [予定曲目/Program]

スッペ: オペレッタ『詩人と農夫』序曲  
Franz von Suppé: Dichter und Bauer, Ouvertüre

オフエンバック: オペレッタ『天国と地獄』序曲  
Jacques Offenbach: Ouvertüre „Orphrus in der Unterwelt“

ドリーブ: バレエ音楽『コッペリア』から『プレリユードとワルツ』  
Léo Delibes: Prelude & Valse, Coppélia

クライスラー: ウィーン奇想曲 Fritz Kreisler: Caprice viennoise

ヨーゼフ・ヘルメスベルガーII: ポルカ・シュネル『軽い足取り』 ♣  
Joseph Hellmesberger II: Leichtfüßig, Polka schnell

ヨハネス・ホリク: 1月1日〜ヨハン・シュトラウス風 ♣  
(サントリーホール25周年記念ワルツ)  
Johannes Holik: Toshi no Hajime à la Johann Strauss  
- Suntory Hall 25 Jahr Jubiläums - Walzer

レハール: ワルツ『金と銀』op. 79  
Franz Lehár: Gold und Silber, Waltz, op. 79

ヨハン・シュトラウスII: エジプト行進曲 op. 335  
Johann Strauss II: Egyptischer Marsch, op. 335

カールマン: オペレッタ『チャールダーシュの女王』から『踊りたい』 ♥♠  
Emmerich Kálmán: „Tanz mochte ich“, Die Csárdásfürstin

ヨハン・シュトラウスII: ワルツ『美しく青きドナウ』op. 314  
Johann Strauss II: An der schönen blauen Donau, Walzer, op. 314  
ほか etc...

### [プロフィール/Profile]

ソプラノ: シピーウェ・マッケンジー Sipiwe McKenzie, soprano ♥

カナダ、ヴァンクーヴァー生まれ。ニュルンベルク州立歌劇場でヨーロッパでのキャリアをスタート。2013年シーズンは、フォルクスオーパーにおける『メリー・ウィドウ』のハンナと『マダム・ボンパドゥール』のタイトルロール、ローナッハー劇場での『オペラ座の怪人』ディーバ役を含むロール・デビューなど活躍を見せ、若手有望株として注目されている。2013/2014年のジルヴェスター&ニューイヤー・コンサートに出演し好評を博した。

テノール: ミロスラフ・ドヴォルスキー Miroslav Dvorský, tenor ♠

1983年スロバキア国立歌劇場『愛の妙薬』ネモリーノ役でデビュー以降、ウィーン国立歌劇場、ゼンパー・オーパー等で活躍。ウィーン・フォルクスオーパー響のソリストとして度々来日。最近ではブラティスラバ歌劇場を本拠地に『トスカ』『こうもり』『カルメン』や『ローエングリン』のタイトルロールなどで存在感を遺憾なく発揮しているが、白眉は前回のニューイヤーでの素晴らしい歌唱であった。年と共に円熟味を浴びたその歌声は、聴衆からの大喝采を得、アンコールの声に押されて連続での登場となる。

指揮&ヴァイオリン: オーラ・ルードナー Ola Rudner, conduct & violin

カメラータ・ザルツブルク、ウィーン・フォルクスオーパー、ウィーン交響楽団など世界有数のオーケストラのコンサートマスターとして活躍した後、1995年フィルハーモニア・ウィーンを設立。またタスマニア交響楽団、ボルザーノ・ハイドン・オーケストラの首席指揮者を歴任し、BBC交響楽団、フランクフルト放送交響楽団、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団、シュトゥットガルト放送交響楽団、ウィーン室内管弦楽団など多くの客演を重ねる。サントリーホールのニューイヤー・コンサートへは5回目の出演となり、シュトラウス自身が弾き振りしたように今回もヴァイオリンを片手に演奏する。

管弦楽: ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

ウィーン・フィルと並び世界最高のウィンナ・ワルツ、ポルカを聴かせるこの楽団は、ウィーンを代表するオペラ、オペレッタハウスとして1898年に皇帝フランツ・ヨーゼフ即位50年を記念して創設されたウィーン・フォルクスオーパー(国民劇場)のオーケストラ・メンバーにより結成。毎年、お正月の日本にウィーンの薫りを届けてくれる。

舞踏: バレエ・アンサンブルSVOウィーン Ballett Ensemble SVO Wien ♣

ウィンナ・ワルツの研究と継承、および典型的なウィンナ・ダンスの保護を目的としてウィーン・フォルクスオーパーを母体に結成されたバレエ団。今回は選りすぐりの2組のペアが、サントリーホールの舞台上で登場する。

音符が踊る、心が踊る。



美しい音色が連なって心踊るメロディが生まれるように、キューピーも一瞬一瞬のおいしさを大切に、心豊かな食の世界をおとどけます。

愛は食卓にある。



www.kewpie.co.jp